



エコパートナーシップうじたわら

うじたわらの木くん

～茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまら～

発行日：2022年8月1日（第91号）

編集・発行：エコパートナーシップうじたわら広報部会

事務局 TEL（88）6639 FAX（88）3231

2022年度総会を開催しました

6月19日（日）、午後2時から宇治田原町総合文化センター研修室1にて、3年ぶりの総会を開催しました。新型コロナウイルスの感染拡大により2年連続で書面開催となっていたが、この日は会員その他一般の方もご参加いただき、町長、議長、衛管議員、区長会長様方を来賓としてお招きしました。

役員改選や事業計画など各種議案も承認され、総会終了後は城南衛生管理組合エコ・ポート長谷山の別所所長やサントリー宇治川工場の方から、使用済みペットボトルを直接ペットボトルにリサイクルする仕組み「ボトル to ボトル事業」についてご講演いただきました。

今回の総会では新たに2名の方に入会申し込みをいただきました。

エコパートナーシップうじたわら役員

会長	芦原	昇
副会長	阪本	伊三雄
監事	森田	木一
運営委員	新谷	博
	西谷	有由
	武光	八重子
	村林	利高
	藤本	英樹
	岩瀬	剛二
	谷出	智（建設環境課長）

講演会「ボトル to ボトル事業について」

みなさんが飲んだペットボトル入り飲料などの容器は月2回の水曜日に収集され、城南衛生管理組合エコ・ポート長谷山に搬入されてから圧縮成形され、容器リサイクル協会に引き渡されていました。しかし、使用済みペットボトル容器は繊維や卵容器などに加工されるため、新たなペットボトルを生産するために化石燃料を使用する必要があります。

今年4月から城南衛生管理組合とサントリー宇治川工場が協定を締結し、回収されたペットボトルは直接ペットボトルの材料に再生されることとなりました。これを「水平リサイクル」といい、サントリーでは2020年時点で15%であるリサイクル率を2030年には100%とする目標を掲げています。

この日参加者に提供された麦茶飲料は、ボトルのラベルにもリサイクルされた容器であることが表示され、この商品は100%リサイクルボトルを使用しているそうです。

リサイクル率を高めるためには、適切な状態で排出することも重要で、使用済みのペットボトルは中身を空にして水ですすぎ、キャップとラベルを取り外して出してください。キャップは各地区の公民館の回収容器へ、ラベルは「プラマーク」として出してください（キャップも「プラマーク」可）。



節電と熱中症予防

今年、こちらの地域では6月中旬に梅雨入りし、下旬には早くも梅雨明けとなりました。その間、雨が降ったのは実質2回くらいで、各地で猛暑日を記録するなど、早くも今年の夏の猛暑を予感させました。

近年は脱炭素の流れから再生可能エネルギーの導入が進められ、火力発電所の稼働率が低下し、東日本大震災後停止していた原子力発電所の再稼働も進んでいないことから、今年は夏期と冬期の電力需給のひっ迫が懸念されています。夏期については安定需給の目途がたってきたものの、最近では関東地方で電力需給ひっ迫注意報が発令されるなど、電力不足が現実のものとなってきています。さらに冬期においては、1月2月の電力需給について非常に厳しい見通しであり、関西地方でも注意報・警報が発令される可能性がないとはいえません。

今年は数年ぶりに国から目標を定めないものの、無理のない範囲で節電への協力が呼びかけられています。

節電のポイント

- ・夏期の節電対象期間は7月～9月
- ・17:00～20:00が最も厳しい時間帯
- ・エアコン、照明、冷蔵庫、テレビ等の順に使用割合が高い
- ・熱中症を予防することがなによりも大切



省エネポータルサイト

エアコン

- ・つまったフィルターを掃除する
- ・冷やす前に部屋の暑い空気を入れ替える
- ・窓はカーテンやブラインドで遮光すれば室温上昇を抑えられる
- ・短時間でON, OFFを繰り返さない

冷蔵庫

- ・中身を詰め込みすぎない
- ・扉をひんばんに開け閉めしない
- ・放熱する側と壁との間隔を適度にあげる
- ・強度を「強」から「中」に切り替える

電気使用量だけでなく、電気代も節約できます

照明

- ・使っていない部屋やフロアの照明を落とす
- ・白熱灯や蛍光灯からLED電灯に切り替える

テレビ

- ・必要のない時は消す
- ・リモコンではなく本体の主電源を落とす

その他

- ・アイロン、ホットプレート、ドライヤー等電気使用量の大きい家電の使用頻度を減らす
- ・節電効果の高い新しい機器に切り替える

熱中症を予防することが最も大事です！

京都府の再エネ導入支援

京都府初期費用0円ソーラー

自宅屋根に事業者が太陽光パネルを設置するため設置費用0

京都府から10万円相当の支援あり、一定期間リース料等を支払った後は自分のものに

太陽光パネル・蓄電池共同購入

京都府が募集した希望者で共同購入するため割安に設置要件を満たせば町の補助金利用も可能



京都0円ソーラー



太陽光共同購入

エコパートナーシップうじたわら事務局 (宇治田原町建設環境課内)

〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字立川小字坂口18-1

TEL 0774-88-6639 FAX 0774-88-3231 Eメール: junkan@town.ujitawara.lg.jp

会報のバックナンバーをご覧ください

宇治田原町役場HP「MENU(暮らし・手続き)」⇒「生活・環境」⇒「エコパートナーシップうじたわら」

茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原